

・本機を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。このマニュアルは、読み終わったあとも必ず保管してください。
 ・このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
 ・このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
 ・このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって異なることがあります。
 ・商標については、「リファレンスガイド」を参照してください。

ApeosPrint C5570 / ApeosPrint C4570 セットアップガイド

本機のセットアップ

補足

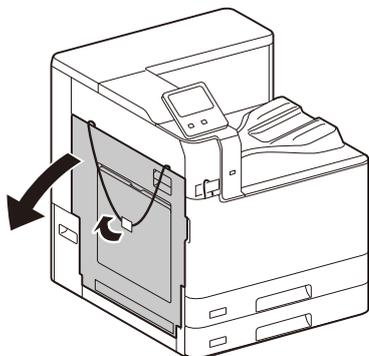
- ・本機は、4人以上で持ち上げてください。
- ・オプションのトレイモジュールを取り付けたまま本機を持ち上げないでください。

1. 同梱物を確認します。

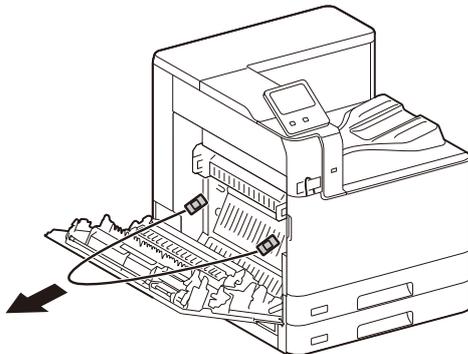
- ・トナーカートリッジ (4色)
- ・電源コード
- ・電源コードの留め具
- ・電源コードの留めネジ
- ・保守連絡先カード
- ・セットアップガイド (本書)
- ・階調補正用色見本
- ・トレイサイズラベル
- ・保証書

2. ロック部材を取り外します。

- (1) 左側面の紐を固定したテープを剥がし、左側面上部カバーを開けます。



- (2) 紐を引っ張り、ロック部材を取り外します。



- (3) 左側面上部カバーを閉じます。

3. オプション製品を取り付けます。

注記

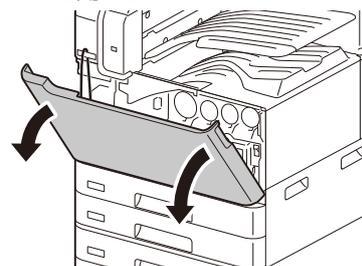
- ・オプションのトレイモジュールを取り付けるときは、本機の電源を入れる前に、トレイ内の内容物および梱包材 (発泡スチロールおよび固定テープ) を取り出してください。

参照

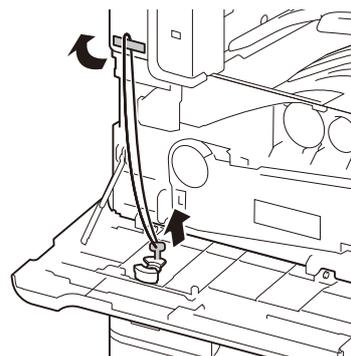
- ・各種オプションの取り付け手順については、オプションに付属の設置手順書、または「リファレンスガイド」の「オプション製品の取り付け」を参照してください。

4. 搬送ボックスをロックします。

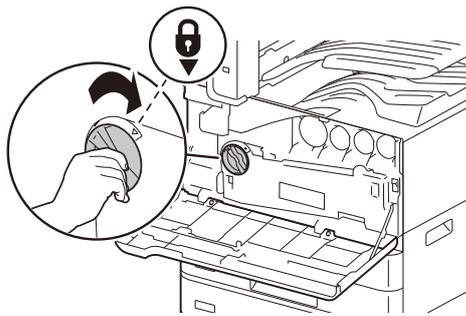
- (1) 正面カバーを開けます。



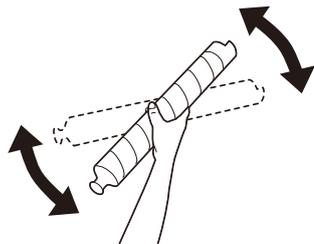
- (2) 紐を固定したテープを剥がし、ピンを引き抜きます。



(3) 搬送ボックスのハンドルを右側に回してロックします。



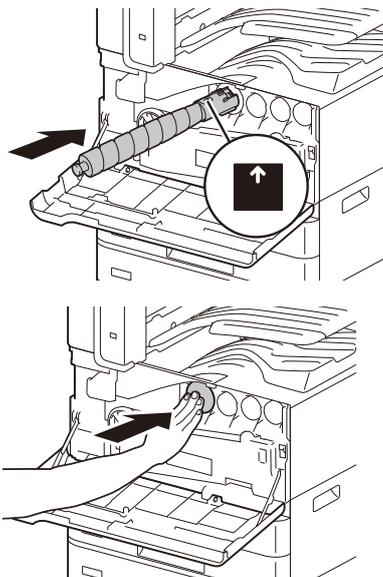
5. トナーカートリッジを梱包箱から取り出し、図のように軽く10回振ります。



6. トナーカートリッジの矢印(↑)部を上に向けて、セットする色と同じ色の差込位置に差し込みます。

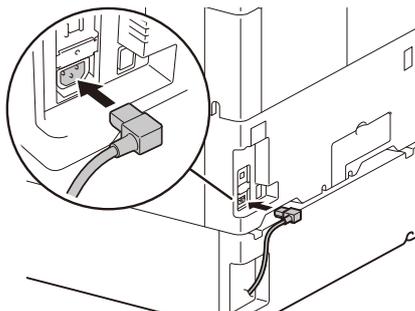
補足

- ゆっくりと奥に突き当たるまで差し込んでください。

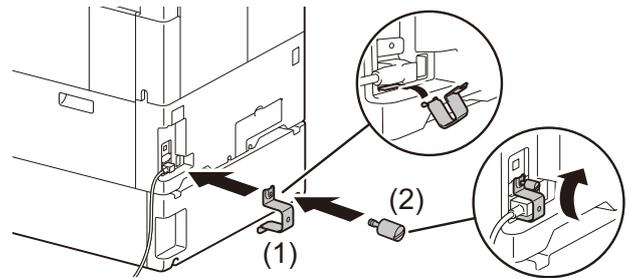


7. 正面カバーを閉めます。

8. 電源コードを本機およびコンセントに接続します。



9. 電源コードに留め具(1)、留めネジ(2)を取り付けます。



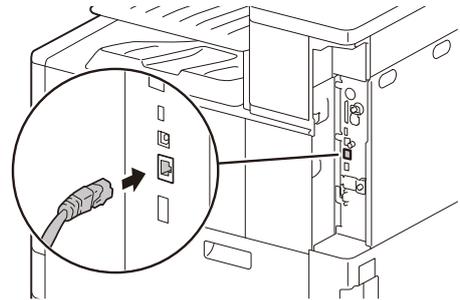
10. コンピューターまたはネットワークに接続します。

■ 無線LAN接続

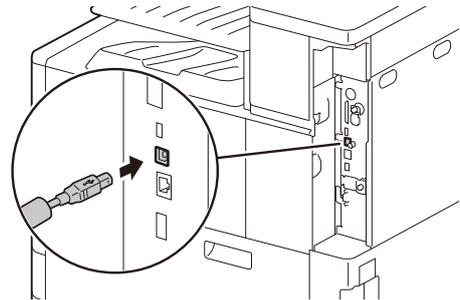
補足

- 無線キット(オプション)が必要です。詳しくは、「リファレンスガイド」を参照してください。

■ 有線LAN接続



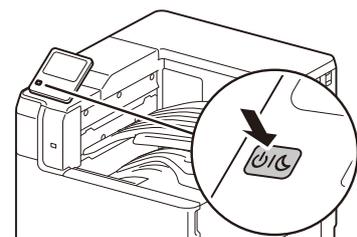
■ USB接続



11. 本機の電源を入れ、画面の指示に従って初期設定を進めます。

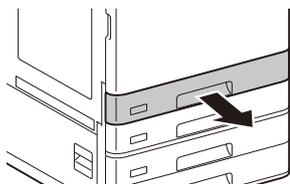
補足

- [3.ファクス設定]、[4.認証/セキュリティー設定]では、[次へ]をタップします。
- [5.保守設定]の[オプション機器のソフトウェアバージョンアップ]では、[次へ]をタップします。
- [5.保守設定]の[ソフトウェアオプションの設定]では、パスワードを入力する必要はありません。[次へ]をタップします。
- 初期設定の項目は、あとから変更することもできます。

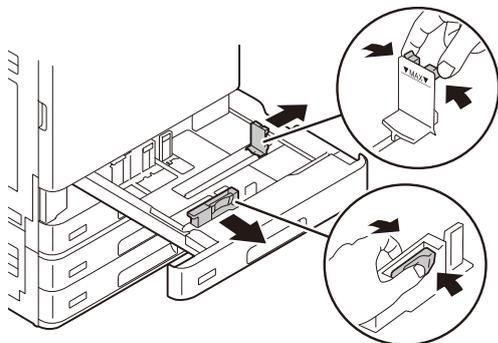


12. [初期設定完了]が表示されたら、[完了]をタップします。

13. 用紙トレイを、手前に止まるまで引き出します。

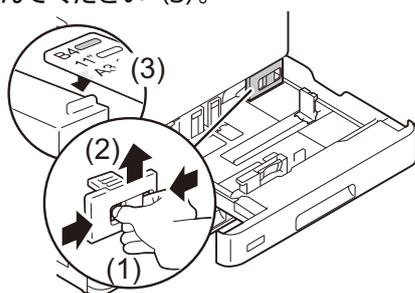


14. 2か所の用紙ガイドレバーをつまみながら、ガイドをそれぞれ用紙サイズに合った位置まで移動します。

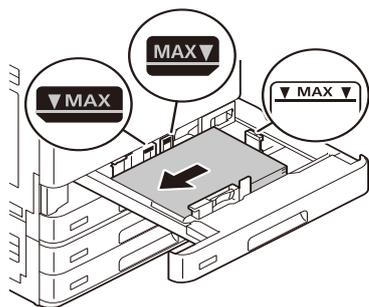


補足

- B4以上の用紙をセットする場合は、用紙後端ガイドをつまんで (1) 用紙トレイから外し (2)、ガイドにある用紙サイズの穴を用紙トレイの突起に差し込んでください (3)。



15. プリントする面を上にして、用紙の先端を左側にそろえてセットします。



補足

- 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。
- 用紙トレイ1～4の右側の空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

16. 用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアは、弊社公式サイトからダウンロードしてインストールしてください。

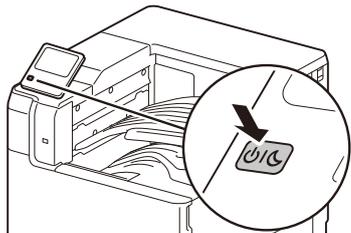
<https://www.fujifilm.com/fb/download/>

1. メニューの [ダウンロード] をクリックします。
2. お使いの機種、OS、および必要なソフトウェアを選びます。
3. [使用許諾条件に同意しダウンロード] をクリックします。

電源について

電源を入れるとき

1. **⏻(電源/節電)** ボタンを押します。



電源を切るとき

補足

- **⏻(電源/節電)** ボタンを押したあとも、しばらくの間は本機内部で電源を切るための処理をしています。
- 本機の電源を完全に切るためには、電源コンセントから電源コードを抜く必要があります。電源コードをコンセントから抜くときは、タッチパネルディスプレイの表示と各ランプの点灯や点滅が消えてから行ってください。
- 電源を切ったあとに、再度、電源を入れる場合は、タッチパネルディスプレイ消灯後、**⏻(電源/節電)** ボタンの点滅が終わってから入れてください。

1. **⏻(電源/節電)** ボタンを押します。
2. タッチパネルディスプレイで、**[電源を切る]** をタップします。

機械管理者でログイン

機械管理者でログインすると、本機の設定を変更できます。

1. ホーム画面で、左上の認証情報の表示エリアをタップします。



2. 機械管理者IDを入力して、**[OK]** をタップします。

補足

- パスワードの入力が必要な場合は、**[次へ]** をタップしてパスワードを入力し、**[OK]** をタップします。

最新情報の入手

弊社の公式サイトにアクセスします。
<https://www.fujifilm.com/fb/>



サポート情報やマニュアルを確認する

1. メニューの **[商品情報]** からお使いの機種のパージを表示します。
2. 表示されたページで、**[サポート]** や **[マニュアル]** をクリックして、最新情報を確認します。

ソフトウェアをダウンロードする

1. メニューの **[ダウンロード]** をクリックします。
2. お使いの機種、OS、および必要なソフトウェアを選びます。
3. **[使用許諾条件に同意しダウンロード]** をクリックします。

エラーコードが表示されたときは 原因と対処を公式サイトで確認する

1. 弊社の公式サイトにアクセスします。
<https://www.fujifilm.com/fb/>
2. ページ上部の検索ボックスにエラーコードを入力して検索します。

3. ページ内の指示に従って設定し、[エラーコード検索] をクリックします。

1.エラーコードを入力してください。

例: 012-345

エラーコード: -

注記: 094の場合、794ではなく「094」と必ず「0」を含んだコードを入力してください。
また、コードは半角文字で入力してください。

2.ご使用の商品を入力してください。

商品名:

安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

お買い上げいただいた商品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。各警告図記号は以下のような意味を表しています。

	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。
△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。	
     <small>静電気 破損注意 注意 発火注意 破裂注意 感電注意</small>	
    <small>高温注意 回転物注意 指挟み注意 鋭利部注意</small>	
⊘記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。	
       <small>禁止 火気禁止 接触禁止 風呂等での使用禁止 分解禁止 水ぬれ禁止 ぬれ手禁止</small>	
●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。	
   <small>指示 電源プラグを抜く アース線を接続せよ</small>	

電源およびアース接続時の注意

警告



本機の後方から電源コードとともに出ている緑色のアース線を必ず次のいずれかに接続してください。接続せずに使用した場合、感電および火災事故の原因となります。

- 電源コンセントのアース端子
 - 銅片などを850mm以上地中に埋めたもの
 - 接地工事（D種）を行っている接地端子
- アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず、電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線、および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

アースとの接続が不十分な場合、感電および火災事故の原因となります。



本機にはD種設置工事を必ず実施してください。接続せずに使用した場合、感電および火災事故の原因となります。



電源コードは、本機近くのアースが確実に取れる電源コンセントに、単独で差し込んでください。定格未満の延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となります。

電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。



本機の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。本機の定格電圧値および定格電流値は、本機背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。



電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となります。



電源コードにものを載せないでください。



電源プラグや電源コンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となります。



同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。火災、感電の原因となります。

また、これら電源コードをほかの機器に使用しないでください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

● その他



本機器の使用環境は次のとおりです。

- 温度：10～32℃
- 湿度：15～85%

ただし冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、本機内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。

機械使用上の注意

⚠ 警告



マニュアルに明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。



本機はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。



次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- 本機から発煙したり、本機の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- 本機の内部に水が入ったとき
- 本機が水をかぶったとき
- 本機の部品に損傷があったとき



本機の隙間や通気口に物を入れないでください。また、次のものは、本機の上に置かないでください。

- 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- フリップやホチキスの針などの金属類
- 重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと本機の内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。



電気を通しやすい紙（折り紙/カーボン紙/導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。



本機の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。



複数の用紙トレイを同時に引き出すと、不意に本機が押された場合に本機全体が傾き、転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。用紙トレイを引き出す場合は、必ず一段ずつ引き出して使用してください。



用紙トレイを引き抜いて紙詰まり処理を行う場合には、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



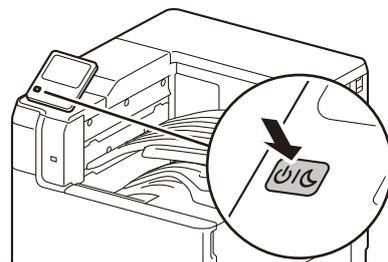
本機の安全スイッチを無効にしないでください。本機の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。本機が作動状態になる場合があります。ケガや感電の原因となるおそれがあります。



本機には漏電ブレーカーが付いています。本機に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。通常は入っている状態にしておきます。1か月に一度は漏電ブレーカーが正常に働くかを確認してください。異常などがある場合は弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店までご連絡ください。

なお、漏電ブレーカーの確認手順は以下のとおりです。

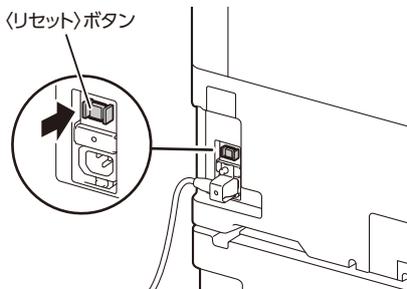
1.  (電源/節電) ボタンを押し、[電源を切る] を選んで、電源を切ります。



2. タッチパネルディスプレイ画面が消灯していることと、電源スイッチが消灯していることを確認します。

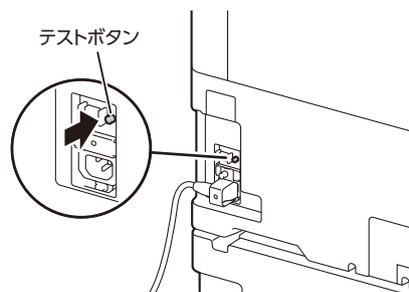
3. ブレーカーの〈リセット〉ボタンを押し込みます。このとき、〈リセット〉ボタンから手を離しても、〈リセット〉ボタンが押し込まれたままの状態となります。

〈リセット〉ボタン



4. ボールペンなどの先のとがったもので、テストボタンを軽く押します。押し込まれていた〈リセット〉ボタンが突き出ます。これで確認は終了です。

テストボタン



5. 再度、〈リセット〉ボタンを押して、〈リセット〉ボタンを押し込んだ状態に戻します。

△注意

-  本機内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取り除かないでください。ケガやけなどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
-  フィニッシャーが作動しているとき、用紙排出部には触れないでください。ケガの原因となるおそれがあります。
-  詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。
-  ホチキスダストボックスを取り外すときは、針くずにより指などにケガをしないように十分に注意してください。
-  まれに排出された用紙に針くずが付着される場合がありますので、指などにケガをしないように十分に注意してください。
-  安全スイッチには、絶対に触れないでください。前面カバーを開けたとき、安全スイッチが働いて、本機は作動しなくなります。安全スイッチを硬貨やドライバーなどで押すと、本機は作動状態になり、ケガの原因となることがあります。
-  穴があいた用紙（市販の穴あき用紙など）の穴がある位置に、ホチキスを留めないでください。飛び出した針により、ケガの原因となるおそれがあります。
-  換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にプリントすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

消耗品取り扱い上の注意

△警告

-  消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。
-  こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。本機内およびトナーカートリッジ、トナー回収ボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。大量にこぼれた場合、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
-  トナーカートリッジは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
-  トナー回収ボトルは、絶対に火中に投じないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナー回収ボトルは、弊社にて回収いたしますので、必ず弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

-  ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
-  ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
-  次の事項に従って、応急処置をしてください。
 - ・トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
 - ・トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - ・トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
 - ・トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

規制について

△警告

-  本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
 - 本製品は工事設計認証を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解 / 改造すること
 - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
 - 本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - 産業・化学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - ①構内無線局（免許を要する無線局）
 - ②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- 次のような機器や無線局の近くでは使用しないでください。
- ・ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
 - ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
 - ・特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- 本機の無線チャンネルは上記の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。そのため、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が遅くなったりするおそれがあります。



- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を中止した上、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
- その他、本製品から電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。



航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本製品の設置および使用は許されません。電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内などの使用を禁止されている場所で本製品を使用した場合、法令により罰せられる場合があります。



医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本装置を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本製品を使用しないでください。
- ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、本製品を使用しないでください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器を装着されている場合は、本装置または本装置のワイヤレスカードシステムのリーダーライター部（アンテナ部）から12cm以上離れて携行および使用してください。

電波により埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器の動作に影響を与える場合があります。



埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器以外の医用電気機器を本製品の近傍で使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器などの動作に影響を与える場合があります。

電磁波障害対策自主規制について

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

受信障害について

⚠ 注意



ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみが本機による影響と考えられる場合は、本機の電源を切ってください。

電源を切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて、障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は、電気店にご相談ください。）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。



EMI基準への適合を維持するため、本機にはかならずシールドタイプのケーブルを使用してください。

高調波自主規制について

本機器は JIS C 61000-3-2(高調波電流発生限度値)に適合しています。

電波法について

本製品は、電波法による総務省高周波利用設備型式指定を受けております。

⚠ 警告



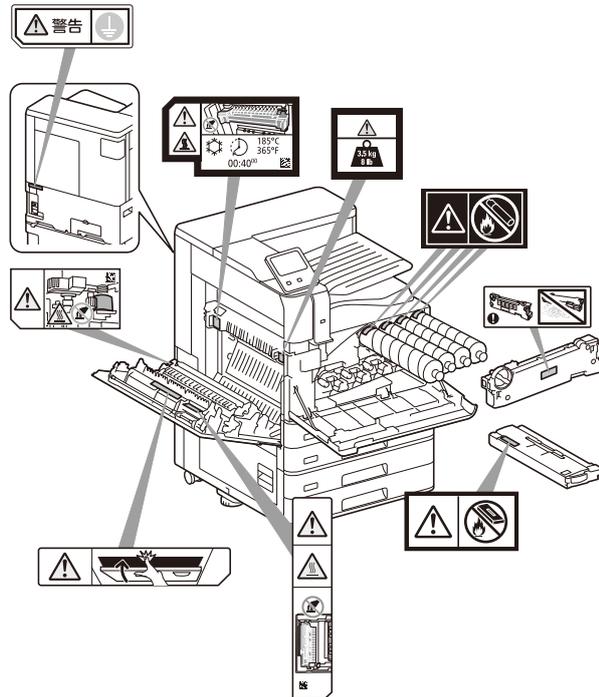
本製品から微弱な電磁波が出ています。

植込み型医療機器（ペースメーカー等）を装着されている方で、体調に何らかの変化があると感じたときは、本製品からただちに離れ、医師にご相談ください。

警告および注意ラベルの貼り付け位置



本機に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。
特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。



SDS（安全データシート）の提供について

「労働安全衛生法」及び又は「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（PRTR法）に基づき、本機用消耗品の SDS を以下の通り提供いたします。

また、SDS は弊社ホームページにおいても公開しています。

1/4

安全データシート

整理番号 : RT139GNJ07

作成日 : 2022/05/25

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ApeosPrint C5570/ApeosPrint C4570
供給者の会社名称、住所及び電話番号 : 富士フイルムビジネスソリューション株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-3
046-237-1686
供給者のファクシミリ番号又は e-mail アドレス : [e-mail アドレス] dge-fb-msds-admin@fujifilm.com
担当部門 : 品質保証部 環境商品安全統括 G

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類 : 本製品は、GHS 分類基準上、危険有害性のある混合物には分類されない。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
成分および及び濃度又は濃度範囲 :

化学名又は一般名	含有量(重量%)				官報公示 整理番号 化審法/安衛法	CAS Registry No.
	ブラック トナー	シアン トナー	マゼンタ トナー	イエロー トナー		
ポリエステル樹脂	<90	<90	<90	<90	非開示	非開示
酸化鉄(フェライトとして)	10-20	<10	<10	<10	1-357	1309-37-1
酸化マンガン(フェライトとして)	3.6	2.5	2.5	2.5	1-475	1344-43-0
パラフィンワックス	<10	<10	<10	<10	8-430	8002-74-2
カーボンブラック	<10	<10	<10	<10	非該当	1333-86-4
青色顔料	<10	<10	-	-	5-3299	147-14-8
赤色顔料	-	-	<10	-	非開示	非開示
黄色顔料	-	-	-	<10	非開示	非開示
無定形シリカ	<10	<10	<10	<10	1-548	7631-86-9
二酸化チタン	<1	<1	<1	<1	1-558	13463-67-7

処方成分として、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ジフェニル類(PBB 類)、ポリ臭化ジフェニルエーテル類(PBDE 類)、フタル酸ビス 2-エチルヘキシル (DEHP)、ブチルベンジルフタレート(BBP)、ジブチルフタレート(DBP)、およびジイソブチルフタレート(DIBP)を含有しない

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のところへ移す。多量の水でよくうがいをする。
皮膚に付着した場合 : 石鹸を使って水でよく洗い流す。
眼に入った場合 : 15 分以上多量の水で洗い流した後、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合 : 水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲ませる。医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 噴霧水、泡、粉末消火薬剤。ただし、機械内で燃焼した際には、電気製品における火災と同様の方法で消火する。
使ってはならない消火剤 : 情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 吸入はできるかぎり避ける。大量にこぼした場合は、必ず当社係員にご連絡ください。
環境に対する注意事項 : 下水道や河川への漏出を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 周囲に火種がないことを確認する。少量の場合はほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布等で拭き取る。大量にこぼした場合は、必ず当社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。こぼれた製品は電気掃除機で吸い取らないこと。(掃除機を用いると微粒子が掃除機内部に充満し、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがある)

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
安全取扱い注意事項 : 火中に絶対に投げない。カートリッジをこわしたり、分解したりしない。
接触回避 : 特になし

保管

安全な保管条件 : 直射日光を避け、乾燥した換気の良いところに、低温で保管する。子供の手の届くところに保管しない。
安全な容器包装材料 : 当社の容器包装材料を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等 : 日本産業衛生学会 第3種粉塵 8 mg/m³ (総粉塵)
(2021年版) 2 mg/m³ (吸入性粉塵)
ACGIH(2021年版) 粒子状物質 10 mg/m³ (総粉塵)
3 mg/m³ (吸入性粉塵)

設備対策 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
保護具 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
呼吸用保護具 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
手の保護具 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
眼、顔面の保護具 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
皮膚及び身体の保護具 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 粉体
色 : ブラックトナー:黒色、シアントナー:青色、マゼンタトナー:赤色、イエロートナー:黄色
臭い : 微かなプラスチック臭
融点/凝固点 : データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 適用外
可燃性 : 15項参照
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
引火点 : 適用外
自然発火点 : 発火性なし
分解温度 : データなし
pH : データなし
動粘性率 : 適用外
溶解度 : 不溶(水)
n-オクタノール/水分分配係数(log) : 適用外
蒸気圧 : 適用外
密度及び/又は相対密度 : 適用外
相対ガス密度 : データなし
粒子特性 : <12µm(トナーとして)
その他のデータ : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	：	安定
化学的安全性	：	安定
危険有害反応可能性	：	可能性なし
避けるべき条件	：	特になし
混触危険物質	：	特になし
危険有害な分解生成物	：	情報なし

11. 有害性情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

急性毒性 (50%致死量)

経口→LD50(ラット)	：	>2000 mg/kg (GHS 区分に該当しない) (印字成分)
皮膚刺激性(ラビット)	：	刺激性なし
皮膚腐食性	：	腐食性なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性(ラビット)	：	イエロートナー：軽度の刺激(印字成分)、ブラックトナー/マゼンタトナー/シアントトナー：最小の刺激(印字成分)
呼吸器感作性又は皮膚感作性(マウスまたはモルモット)	：	皮膚感作性なし
生殖細胞変異原性	：	AMES 試験 陰性
発がん性	：	カーボンブラックは、国際がん研究機関(IARC)によって"グループ 2B(ヒトに対して発癌性があるかもしれない)"に分類される。しかし、カーボンブラックを含有するトナーに対するラットの長期吸入暴露試験では、「発癌の証拠なし」の結論を得ている。

二酸化チタンは国際がん研究機関(IARC)の発がん性分類で、グループ 2B に分類される。動物実験では、ラットのみ肺腫瘍が認められた。これは、ラットの肺クリアランスメカニズムの過負荷(オーバーロード現象)によるもので、本製品の通常使用時にはあり得ないと推察される。呼吸器の疾病と二酸化チタンの作業暴露との関係は、これまでの疫学調査で認められなかった。

なお、カーボンブラックおよび二酸化チタン以外の構成成分は発がん物質(文献1)に該当しない。

生殖毒性	：	生殖毒性及び発生毒性物質(文献2)を含有せず。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	：	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：	ラットを用いた2年間にわたるトナー吸入暴露試験において、毎日、中用量(4 mg/m ³)もしくは高用量(16 mg/m ³)の暴露環境にさらされていた群で、肺に軽度の線維症が観察されたが、低用量(1 mg/m ³)の群については、肺に特別な変化は認められなかった。当社商品の通常の使用に伴って排出されるトナー量は、1日当たり1mg/m ³ を大幅に下回っており、製品を日常的に使用する限りでは人体への影響はないと判断している(文献3)。
誤えん有害性	：	対象外
その他	：	データなし

12. 環境影響情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

生態毒性			
急性毒性	魚類 96 時間 LL50(ヒメダカ)	：	> 500mg/L (GHS 区分に該当しない) (印字成分)
	ミジンコ類 48 時間 EL50(オオミジンコ)	：	> 100mg/L (GHS 区分に該当しない) (印字成分)
	藻類 72 時間 ErL50(ムレミカヅキモ)	：	> 100mg/L (GHS 区分に該当しない) (印字成分)
残留性・分解性		：	データなし
生体蓄積性		：	データなし
土壤中の移動性		：	データなし

オゾン層への有害性 :
他の有害影響 : データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報：
適切な処理が必要なので、必ず当社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店に渡すこと。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 非該当
海洋汚染物質 : 非該当
MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 : 非該当
国内規制がある場合の規制情報 : 非該当

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法) : 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)マンガン及びその化合物(政令番号:412)マンガンとして(ブラクトナー:2.8%、シアントナー:1.9%、イエロートナー:1.9%、マゼンタナー1.9%)

労働安全衛生法 : 特定化学物質第2類物質、管理第2類物質(特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2,5号)
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9)
ブラクトナー:カーボンブラック(政令番号:130)、固形パラフィン(政令番号:170)、酸化チタン(IV)(政令番号:191)、酸化鉄(政令番号:192)、ブラクトナー/シアントナー:銅及びその化合物(政令番号:379)、マンガン及びその無機化合物(政令番号:550)

化審法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
消防法 : 指定可燃物(ただし、合成樹脂類:3000kg以上)

16. その他の情報

本製品安全データシートは現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには十分ご注意ください。また、内容を当社の許可なく一方的に改定・使用され、何らかの事故が発生した場合は、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

CAS Registry Number(R) is a Registered Trademark of the American Chemical Society.

引用文献

- (文献1) : ・IARC Monographs on the Evaluation Carcinogenic Risks to Humans (WHO.IARC:国際癌研究機関)
・National Toxicology Program(NTP) Report on Carcinogens (NTP:米国・国家毒性プログラム)
・TLVs and BEIs (ACGIH:米国・政府産業衛生専門家会議)
・物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則(EC) No1907/2006 を改正することに関する規則(EC)No1272/2008(CLP 規則)
・日本産業衛生学雑誌(日本産業衛生学会)
- (文献2) : ・物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則(EC) No1907/2006 を改正することに関する規則(EC)No1272/2008(CLP 規則)
- (文献3) : ・Pulmonary Response to Toner upon Chronic Inhalation Exposure in Rats
H.Muhle et.al Fundamental and Applied Toxicology 17.280-299(1991)
・Lung Clearance and Retention of Toner, Utilizing a Tracer Technique, during Chronic Inhalation Exposure in Rats
B.Bellmann Fundamental and Applied Toxicology 17.300-313(1991)

環境について

- ・ 粉塵、オゾン、ベンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物（TVOC）の放散については、エコマーク複写機・プリンターなどの画像機器の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。試験方法はドイツ環境ラベルのBlue Angelに基づき試験を実施しました。
- ・ 回収した消耗品トナーカートリッジまたはトナー回収ボトルおよびドラムカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- ・ 不要となった消耗品トナーカートリッジまたはトナー回収ボトルおよびドラムカートリッジは適切な処理が必要です。消耗品トナーカートリッジまたはトナー回収ボトルおよびドラムカートリッジは、無理に開けたりせず、必ず弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお渡しください。

サポートについて

弊社は本製品の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後7年間保有しています。

ご使用前に必ずお読みください

本機を使用される前に、「リファレンスガイド」に記載されている「使用権許諾条項」（アドビ社のソフトウェアの使用に関する条項）を必ずお読みください。

リファレンスガイドは、公式サイトでご覧になれます。各ソフトウェアは、対象となる各条項にご承諾いただける場合のみご使用ください。使用を開始されたときは、各条項のすべてをご承諾いただいたものとさせていただきます。もし、「ソフトウェア使用許諾事項」にご承諾いただけない場合は、本商品をお買い求めいただいた販売店にお問合せください。